

2016年12月25日

2016年度卒団生のことば
(新座リトルリーグの思い出と将来の夢)

■ I 狩さん

私は、この新座リトルで長い間グラウンドに立ち、最高の仲間達と汗を流し、形ではない、大切なものを築きあげてきました。何百試合という中で、特に思い出が深いのは4年生の時のこいのぼり杯です。こいのぼり杯では、決勝という大事な試合で自分が投手をやらせていただき、完投したことを覚えています。それよりも投げている時にずっと声をかけ続けてくれた仲間、一丸となって越谷に攻撃したベンチ、優勝して喜びあって胸を張って表彰されたことをずっと大切に覚えています。

私は今、ソフトボールという新しい道を歩んでいます。野球で教わった事を大いに生かしてプレーをしています。どうしてもたまにリトルの仲間の顔が浮かんできます。そんな私の将来の夢はソフトボール選手になって世界に羽ばたく事です。プロになって親孝行をして世界に行く時、なぜそんな世界に行けるくらい強いのですか？と聞かれて「新座リトルのみんなのおかげです！」といえる日が来るまで練習を重ね、最高のプレーヤーになりたいです。

■ I 田君

はじめに監督、ママさん、コーチの方々、スタッフの方々、僕に野球を教えてください、ありがとうございました。

リトル生活の中で印象に残っていることは一つあります。それは、インターミディエット大会です。一試合目の上尾西戦では、先発の琢磨の素晴らしいピッチングで勝つことができました。二試合目の所沢戦、一回も負けたこともないし、健人と天翔がいるから絶対に勝てると思っていました。でも負けてしまいました。自分のリードが悪かったのか、ピッチャーが苦しい時にキャッチャーの自分が声をかけてあげられなかったのかなど、とても後悔しています。だからもう後悔をしないように思いっきり野球をしていきたいです。

最後に僕は将来の夢は決まっていますが、このリトル生活で学んだことを活かして将来につなげていきたいです。

■ I 村君

まず始めに、橋本監督をはじめ、ママさん、スタッフの方々、今までありがとうございました。

僕のリトルでの思い出は、インターミディエット大会です。僕は他の人と比べてリトルを始めるのが遅かったので、何も出来ませんでした。その後、インターミディエットというものを知って、僕がチームに貢献できることは走塁だと思いました。その走塁で上尾西戦に5つ以上の盗塁を決めることができました。それが僕の一番の思い出です。

僕の将来の夢は高校までは野球を続けてベンチメンバーに入れるようにしたいです。

そのためには毎日素振りや壁当てなどの練習や、今の僕に足りない力をつけるためにウエイトトレーニングなどをして体を強くしたいです。

最後に、今までこの新座リトルに入って良かったです。

■U村さん

まず始めに、橋本監督・ママさん、保護者の皆様、今までありがとうございました。

私は小学2年生の頃に兄の繋がりで見事に入部し、皆様のご指導のおかげで、約4年半野球を続けることができました。

リトルに入った頃はルールも全く分からず、ボールも怖く、何もかもが不安でたまりませんでした。でも、チームの皆が助けてくれて本当に嬉しく、今では良い思い出です。練習を重ねていく事で上手に捕れるようになっていき楽しくなってきましたが、時には行きたくなかった日もありました。でも歯をくいしばり泣きながらでも行き、辛くてもチームの皆で乗り越えました。本当にこの15人に出会えて嬉しかったです。この15人の事は忘れません。皆もこの先辛い事がたくさんあると思うけど、私はこのメンバーを思い出してたくさんの方に挑戦をして乗り越えていきたいです。

また、太田コーチには小さい頃からたくさん絵を描いていただき、今でも大事にとっています。何がなんでも一回はホームランを打ち、太田コーチに描いてもらいたいと思いつき、素振りを頑張りました。ホームランを打ち、太田コーチにホームランボールに絵を描いていただいた時はとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。

最後にお父さん、お母さんにひと言です。お父さん、私が打てるようにバッティングのフォームや打ち方を教えてくれたり、私のためにたくさん時間を削ってくれたりして、ありがとうございました。お母さんは、朝は早く起きておいしいお弁当や洗濯などたくさんしてくれました。これからもよろしく願いいたします。

■K光君

橋本監督、ママさんをはじめコーチ、スタッフ、父兄の皆様、新座リトルリーグ在籍中は本当にありがとうございました。

僕のリトルリーグでの一番の思い出は、NHKの取材が来た松戸リトルリーグとの試合です。一、二打席目は三振、三打席目の時に同点のチャンスで僕に打順が回って来ました。ノーボール、ツーストライクに追い込まれている中、次の球がカーブかストレートか悩みましたがストレートに的を絞って、思いっきりスウィングをしました。結果、左中間に2点タイムリーヒット、同点とすることが出来ました。

リトルリーグで教わった事は色々あるけれど、中でも前が出る積極性やプレッシャーのかかる場面でも打ち勝つ精神を教えてもらったと思っています。リトルリーグ生活の後半では徐々にヒットが打てるようになってきたり、見逃しが減ったり。中学校の学校生活においても前が出る積極性で合唱祭実行委員に立候補し、選ばれたりなどとても経験が生かされていると思っています。

僕の将来の夢は、心臓外科医になる事です。その為に、中学校では部活で野球をしっかりと

やり体力を付けます。また勉強もしっかりやり夢を叶えたいと思っています。

今まで本当にありがとうございました。

■ K藤君

橋本監督を始め、ママさん、コーチの方々、スタッフの方々、この六年間本当にありがとうございました。とても良い環境でご指導いただき、安全に野球ができる。こういった事は支えてくださった方々のおかげだと思っています。そんなリトル生活で、僕はたくさんのことを学びました。野球のことはもちろん、メンタルも強くなったと思います。そして何より学年が上がるにつれて、仲間意識が高くなったと思います。

ジュニアの頃は、人数も少なく、あまり勝ちにこだわっていなかったが、マイナー、メジャーになるにつれて人数も増え、考え方も変わってきました。誰かがしてしまったことは連帯責任、こういうご指導をしていただいた内村監督・苑田コーチ・生田コーチ、他のコーチの方々、ありがとうございました。

最後に、僕は今、中学校の野球部に所属していますが、高校に入ったら別の球技もやってみようかなと思っています。その時は、教えていただいたことを無駄にせず、頑張ろうと思います。今までありがとうございました。

■ K下君

自分の中で一番思い出に残っている試合があります。その試合は、今年の5月にあったインターミディエット全国大会予選、決勝リーグでの上尾西戦です。この試合では、先発の琢磨が好投してくれて、自分もこの試合 四打数三安打で当たっていました。みんなも当たっていて、守備もよく、良いリズムで試合ができ、10対2で勝つことができました。その後の所沢戦では敗けてしまい、全国大会には行けませんでした。上尾西戦はリトルでの一番の思い出になりました。

僕の将来の夢は甲子園にでることです。そのために、まず入っているチームでレギュラーになれるように、今まで以上に自主練習を真剣にやり、質をもっと上げていきます。

■ K池君

まず始めに、橋本監督、ママさん、コーチ、保護者のみなさん、6年間ありがとうございました。

僕は1年生の頃に入団しました。入団してから4年間くらい、野球が嫌になり馬場グラウンドに来て車にこもっていたことを思い出します。ですが、小泉コーチが「練習をしよう」と言ってくれたおかげで練習に参加することができました。小泉コーチに声をかけていただかなかったら、今野球をやっていなかったかもしれません。小泉コーチにはとても感謝をしています。

僕は野球が嫌いだったのであまり努力をしませんでした。ですが、6年生の頃夏の甲子園を見たとき、僕も高校野球をやりたいと思いました。天翔から塾の日以外、天翔の家の庭

でティーバッティングをしないかと誘われたので、僕は塾のない日以外はほとんど行きました。練習試合や大会の前には1-3 km走りました。その練習のおかげで、バッティングでは本塁打6本、ピッチャーでは上尾西を相手に5回無失点という好成績(!)を残すことができました。天翔にはとても感謝しています。

僕は今、キャッチャーをやっています。まだまだ未熟ですが、練習に一生懸命取り組んで、上手くなれるように努力していきますので応援よろしくをお願いします。6年間、本当にありがとうございました。

■ K 泉君

僕は、三年の春に新座リトルリーグに入りました。僕は、その前にサッカーをやっていたので野球をするのは、初めてでした。しかし、リトルに入ったらくさん同級生がいて、すぐに仲良くなり、毎週の土日が楽しみでした。

内村監督、苑田コーチ、生田コーチには、運動能力や精神面での強さだけでなく、人としての礼儀やチームワークを教えてくださいました。時に怒られることもありましたが、そのご指導があったからこそ、僕は、大きく成長することが出来ました。

そして、お父さん、お母さんには、暑い日も寒い日も練習や試合があるたびに送り迎えや応援をしてくれました。ユニフォームを汚した時も、文句ひとつ言わずに一生懸命洗ってくれました。悔しくて泣いている時は、励ましてくれました。試合で勝った時は、たくさん褒めてくれて、美味しいご飯をたくさん作ってくれました。また、平日には素振りをしている時、僕の振り方をアドバイスしてくれました。いつも僕を一番近くで支えてくれたのは、お父さん、お母さんでした。

僕は、野球をやめて、今違うスポーツの卓球をしています。卓球は、野球とは違い、個人のスポーツです。自分の努力がそのまま結果としてでできます。野球をしていたころは、自分の努力不足でチームになかなか貢献することができませんでした。なので、卓球では、悔いの残らないように努力し、それに加え、この新座リトルで、学んだことを大切にして、プロの卓球の選手になれるように、これからも頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、小池会長、橋本総監督を始め、ママさん、審判員の方々、リトルリーグ関係者の皆様、父兄の皆様、こんな僕を支えてくださり、本当にありがとうございました。

■ S 佐君

まず始めに、橋本監督、ママさん、スタッフの皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。

僕は、四年生の時にお父さんに無理に行こうと誘われて入団しました。最初は上手くできなくてつまらなかったです。みんなに追いつけるか心配でした。でもコーチの皆さんがわかりやすく、時には厳しく、また温かく指導してくださいました。チームのみんなも色々教えてくださいました。そしてお父さんとも一緒に素振りやキャッチボール、Tバチをやって色々アドバイスしてくれたので、僕は少しずつ自信が持てるようになり、野球が楽しくなってきました。

ました。

新座市長杯での初ホームランは忘れられない思い出です。ものすごく気持ち良くてうれしかったです。それから何度かホームランを打つことができ、自分の部屋に増えていったホームランボールは大切な宝物です。修了生大会でも、先頭打者ホームランを打つことができました。みんなで勝ち取った優勝は最高でした。

将来の夢は、シニア、高校でも一生懸命がんばって甲子園に行きたいです。活躍できるように練習をがんばります。

■ S 田君

まず始めに、橋本監督、ママさん、内村コーチ、スタッフ、保護者の方々、今まで本当にありがとうございました。自分はこの新座リトルで野球をやってきたからこそここまで成長できたのだと思います。

僕は、一年生の春に入団しました。野球を始めたばかりで分からないことがいっぱい、時には悩むこともありました。素晴らしい指導をしてくださったコーチの方々のおかげでがんばってくることができました。

何より感謝したいのが、どんな時も僕を笑わせてくれたり、励ましてくれたりしてくれたチームメイトのみんなです。そんな 15 人のチームメイトがいたから、ここまでがんばることができました。

僕は、今まで野球をやってきましたが、高校でも続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

■ T 野君

まずは始めに橋本監督、ママさん、コーチ、スタッフのみなさん、約 4 年間ありがとうございました。

ぼくは、新座リトルに入っているいろいろな思い出ができました。中でも一番心に残っているのは、4 年生の時のこいのぼり杯です。そのときは、相手チームは越谷で、一度も勝てなかったチームでした。みんなの力が合って越谷に勝てたことが、リトルをやってきた中で一番の思い出になりました。

ぼくは野球を続け、将来野球の強い高校に入り、活躍していきたいです。

最後に、お父さん、お母さん、橋本監督、ママさん、コーチ、スタッフのみなさん、ぼくがここまで野球を続けてこられたのは、みなさんのおかげです。ありがとうございました。

■ H 島君

僕は小学校二年生の秋頃に入団しました。

新座リトルでの一番の思い出は、コイノボリ杯の決勝戦の時です。この試合に僕は出られませんでした。出られない分たくさん声を出して応援をしました。やっとの思いで 4 対 2 で勝てた事がとても心に残っています。

二番目は、僕は打力が弱いけど守備で試合に使ってもらえたことがすごくうれしかった

です。

将来の夢は、甲子園に出場し、プロ野球選手になることです。僕は今、新座東シニアに入団しています。新座リトルで学んだことを活かし、自分の弱い打力をアップさせる練習をたくさんして、守備でも打撃でも使ってもらえるような選手になりたいです。

小池会長、橋本総監督、ママさん、コーチの方々、スタッフの方々、約5年間お世話になりました。ありがとうございました。

■M良君

まず始めに、橋本監督、ママさん、コーチ、スタッフの方々、今まで本当にありがとうございました。

僕が新座リトルに入団したのが3年生の時で、その時のマイナーの監督は内村コーチでした。内村コーチには一つ上の代でも試合に出させていただき、本当にありがとうございました。

僕のリトル生活での思い出は、マイナーのとき、越谷に初めて勝ったこいのぼり杯です。越谷は本当に強くて、最後の大会でも負けてしまった相手に、こいのぼり杯で勝った事は本当にすごかったなと思います。

リトル生活、このメンバーで最後までできて本当に良かったです。

最後に監督、コーチ、スタッフの方々、本当にありがとうございました。

■M田君

まず始めに、橋本監督、ママさん、スタッフの方々、今まで本当にありがとうございました。

僕は年中の頃にこのリトルに入って、最初の頃は隼大と砂遊びをしていたけれど、どんどん仲間が入ってきて自分も負けていられないという思いから練習をがんばりました。最初は、しゅんた、こうすけ、たくま、そらとぐらいしかいなかったけれど、今では15人もの仲間ができました。

メジャーになり、自分はキャプテンになりました。でも、自分にキャプテンの仕事が務まるか不安だったけれど、隼大と天翔がアドバイスしてくれたり、他のみんなも気を使って動いてくれたり本当にありがたかったです。試合でもみんなが団結して全く歯が立たなかった越谷や上尾西にも敵うぐらいのチームになることができました。そんなチームになったのも内村コーチのおかげだと思います。きつい練習もあったけれど、その練習を超えられたからこそ、このチームができあがったと思います。僕はこのチームで野球ができて本当に幸せでした。

僕は将来、内村コーチみたいな笑いがあふれながらも強いチームを作るコーチになりたいです。

最後になりましたが、今まで本当にありがとうございました。最高の7年間でした。